

令和7年度 学校経営計画書

石川県立加賀高等学校
校長 小畠 敏和

1 教育目標

- ① 知性をみがき、判断力を高め、生活や文化を創造していく人を育成する。
- ② 心情を豊かにし、品格ある個性と、豊かな感性を持つ人を育成する。
- ③ たくましい体力と意志を培い、社会・国家の発展に努める人を育成する。

2 中・長期的目標**(1) 学校の現状**

- ① 職員が一丸となって粘り強い生徒指導を行い、規範意識の育成に取り組んでいる。
- ② 授業の改善や習熟度別指導・少人数指導の充実により基礎学力の定着を図っている。
- ③ 総合学科の特性を活かし、3年間を見通したキャリア教育の充実に努め、適正な職業観・勤労観の涵養を図っている。
- ④ 生徒の自己肯定感を高めるよう地域交流を取り入れた授業や特別活動を積極的に推進している。
- ⑤ 生徒の安全確保について、危機管理体制を適宜見直しながら、更なる充実を図る。

(2) 生徒に関する中・長期的目標

- ① 基本的生活習慣やマナーを身につけ、地域社会を担う社会人として行動できる自己管理能力を育成する。
- ② 日本語4技能（読む・書く・話す・聴く）の習得及び基礎学力の向上を目指すとともに、主体的・対話的で深い学びにより思考力・判断力・表現力を身につけさせ、粘り強く学習に取り組む態度を育成する。
- ③ 自ら考え行動する主体性、他者との協働性、多様な人たちとコミュニケーションが取れる力を身につけ、社会で活躍できる人材の育成を目指す。
- ④ 安全を意識して行動できる生徒を育成する。

(3) 教職員、学校組織等の望ましい在り方

- ① 研究授業や互見授業など、校内外の研修を通して自己研鑽に積極的に取り組み、指導力の向上を図る。
- ② 多様な視点から個々の生徒理解（特に支援を必要とする生徒の理解）に努め、全職員が一致協力して落ち着きと活力のある学校づくりに取り組む。
- ③ 積極的に情報発信を行い、地域・保護者との連携を図り、生徒の社会貢献を促し、達成感や自己肯定感の醸成に努める。
- ④ ワークライフバランス及びタイムマネジメントの意識を高め、時間外勤務縮減に向けた業務改善や多忙化改善に努める。
- ⑤ 教職員の危機管理意識を高め、関係機関と連携し、安全・安心な体制整備に努める。

3 今年度の重点目標

- ① 基本的生活習慣の確立およびインターネット利用における情報モラルやスマートフォン等使用に係るルール・モラルの啓発に努め、社会に出て通用する規範意識を育む。（登校指導・挨拶運動の推進、服装容儀の指導、家庭との連携強化）
- ② あらゆる教育活動を通して日本語4技能（読む・書く・話す・聴く）の育成を図り、授業力向上とキャリア教育の充実に努め、G I G Aスクール構想のもと主体的・対話的で深い学びを推進し、専門的な技能の習得と個に応じた進路実現を目指す。
(研究授業の充実、「総合的な探究の時間」の深化、学び直しによる基礎学力の定着、有用な資格の取得、個人面談・個別指導の充実、個別最適な学びのための一人一台端末の活用)
- ③ 地域貢献活動を通して、生徒の豊かな人間性や社会性を醸成し、自己肯定感を高める。
(ボランティア活動と地域交流事業の推進、部活動と生徒会活動の活性化)
- ④ 教育活動の成果を積極的に発信し、家庭や地域から信頼される学校づくりを推進する。
(ホームページとメール配信の効果的活用、小中学校との連携強化、積極的な学校公開)
- ⑤ 教職員のワークライフバランスの意識をさらに高めるとともに、働き方改革をより一層推進し、生徒と向き合う時間を確保する。
(時間外勤務の正確な実態把握と業務改善)